

一般社団法人日本建築構造技術者協会は、構造設計一級建築士に要求される実務遂行能力に加え、協会認定専門家として一般社会に対して構造設計のあり方などについて明確に説明ができ、構造設計者の能力向上に寄与する活動を行うなど、構造設計者のリーダーとしての能力を有する者に、JSCA 建築構造士の資格を与えることを目的として、JSCA 建築構造士資格認定試験（以下試験と略称）を実施する。以下にその実施要項を示す。

※COVID-19（新型コロナウイルス）感染症の感染拡大の状況により、以下の日程が変更・中止となる場合や試験の運用方法が変更となる場合があります。最新の情報はホームページをご確認ください。

I. 受験資格

受験資格は以下に示す要件のいずれにも該当していること。

- ① 構造設計一級建築士を取得していること。
- ② 2年以上の責任ある立場での構造設計業務の実務経験があること。
- ③ 構造監理業務の実務経験があること。

（補足）

- 1) 責任ある立場とは、一級建築士登録後、構造設計者として構造設計に主体的に係り、様々な課題に対して自らの判断を基にしてその業務を遂行する立場をいう。
- 2) 実務経験は5件以上あること。その中には責任ある立場で行った基本設計・実施設計業務をそれぞれ1件以上含むこと。また、構造監理業務を1件以上含むこと。なお、これらの基本・実施・監理業務は同一物件も可とする。
- 3) 構造監理業務には、自らが設計した建物が設計図通りに施工されていることを確認する業務（ポイント監理）を含むものとする。
- ④ JSCA 会員の場合は、会費を受験申込み前に全納していること。

II. 受験申込書類の配布方法等

- 1) 配布期間 2022年6月1日（水）～7月26日（火）
- 2) 入手方法 ①JSCA ホームページ (<https://www.jsca.or.jp>) よりダウンロード。
②E-mail/FAX/郵便のいずれかの方法にて JSCA 事務局へ請求。
「送付先（郵便番号付記）・氏名」を明記のこと。書類一式（無料）を郵送します。

III. 受験申込み、受験日時、合格発表等

- 1) 受験申込書の受付期間 : 2022年6月1日（水）～7月26日（火）（必着）
- 2) 受験票の発送 : 2022年8月下旬
- 3) 面接試験の日時 : 2022年9月30日（金）、10月1日（土）
時間は個別に指定
- 4) 筆記試験の日時 : 2022年10月1日（土） 時間は後日発表
- 5) 試験の会場（面接・筆記とも） : 東京・大阪・札幌・名古屋・福岡
（会場案内は受験票送付時に同封）
- 6) 合否通知 : 2022年12月上旬（予定）

- 注 1) 試験の曜日は金曜、土曜、または土曜のみとなります。
遠方の方は面接試験日が土曜日となるよう配慮します。
- 2) 面接試験の遅刻は認めません。筆記試験の遅刻は試験開始 30 分以降は認めません。
ただし、いずれも交通機関の乱れなど止むを得ない事情があると判断される場合は受験を認めることがあります。

IV. 受験の申込みに必要な書類

- 1) 受験申込書 [書式 1-1 号] 顔写真(30 3.5cm×45 4.5cm)を所定の位置に貼付けのこと。
- 2) 受験票（顔写真貼付け）

- 3) 経歴書（職歴と実務経歴）〔書式 1-2 号〕
- 4) おもな業務概要 3 件（一級建築士登録後）〔書式 1-3 号〕
※1)から 4)の記入は黒ペン又は黒ボールペンを使用、または、直接打ち込みも可とする。
- 5) 構造設計一級建築士証の写し〔書式 1-4 号〕 カードを A4 用紙に原寸でコピーし貼付のこと。
- 6) 受験手数料払込受領証（コピー可）〔書式 1-1 号補〕 所定の位置に貼付けのこと。

V. 受験手数料

¥23,000 とする。但し、申込書類審査の結果、受験不適格や書類不備と判定され受験できない場合には、事務手数料を差し引いた¥18,000 を返却する。

VI. 面接試験の概要

経歴のほか、計画・設計・計算・工事監理などの実務経験について、面談により倫理観、人格、識見、技量など JSCA 建築構造士としてふさわしいか否かを判定する。

面接試験の際に、受験申込書類の1-2号「経歴書」と1-3号「おもな作品概要」の内容について説明を求めるので、それらのコピーを必ず持参すること。また、経歴や主な作品に関する補足資料があれば持参しても良い。

VII. 筆記試験の概要

出題された課題建物について、与えられた設計条件を満足するような構造種別・構造形式などを適宜設定して構造設計概要書（構造概要、構造計画の説明）と概要書の内容を補助する略図を作成する。それらの解答により構造計画についての説明能力を判定する。

1) 出題項目

- ・課題建物概要
体育館を併設する大学講義室棟
- ・与えられる設計条件
① 建物用途 ② 計画条件 ③ 概略の平面・立面・断面
④ 土質柱状図 ⑤ 設計荷重

2) 解答項目

A3 版 5 mm 方眼用紙 2 枚に答案を作成する。作図はフリーハンド程度でもよい。

- ① 構造概要 ② 構造計画
- ③及び④ 上記①と②に解答する説明内容を補助する略図
(床梁伏図、軸組図、主要部材断面、詳細スケッチ等)

3) その他

持込み可能なものは、筆記用具、製図用具（製図板を含む）および電卓（電卓機能以外の機能が付加されているものは不可）とする。

VIII. 試験合格後の手続き

- 1) 試験合格者の登録申請期間は合格後 1 年以内とする。
- 2) 正会員が合格した場合－協会が定める書式による登録申請により JSCA 建築構造士名簿に登録される。
- 3) 非会員が合格した場合－一般社団法人日本建築構造技術者協会に入会手続きを行った後、正会員が合格した場合と同じ手続きを行う。
正会員入会金 ¥20,000
正会員年会費 ¥22,000 (30 歳未満は¥12,000、30 歳以上 40 歳未満は¥18,000、70 歳以上は¥9,000)
- 4) 登録申請には顔写真 (ヨコ 3.5cm×タテ 4.5cm) 1 葉を必要とする。
- 5) 登録手数料は¥27,000 とする。
- 6) 登録の更新 (5 年ごと) については別に定める。

■事務局 一般社団法人 日本建築構造技術者協会

〒102-0075 東京都千代田区三番町 24 番地 林三番町ビル

TEL:03-3262-8498 FAX:03-3262-8486 E-mail:nishikawa@jsca.or.jp